閉経後･ホルモン感受性乳癌における術前 Exemestane(EXE)療法と EXE 療法効果不十分例に対する EXE＋低用量 CPA 併用療法有用性確認試験(JBCRG-11CPA)
閉経後･ホルモン感受性乳癌における術前 Exemestane(EXE)療法と EXE 療法効果不十分例に対する EXE＋TC 療法併用療法有用性確認試験(JBCRG-11TC)
付随研究に参加された患者さんへ

ホルモン感受性乳がんではホルモン療法が有効とされますが、個人差があります。Japan Breast Cancer Research Group(JBCRG)により行われた臨床試験「閉経後･ホルモン感受性乳癌における術前 Exemestane(EXE)療法と EXE 療法効果不十分例に対する EXE＋低用量 CPA 併用療法有用性確認試験」及び「閉経後･ホルモン感受性乳癌における術前 Exemestane(EXE)療法と EXE 療法効果不十分例に対する EXE＋TC 療法併用療法有用性確認試験」は手術前にホルモン療法を受けていただき、ホルモン療法の効きにより治療を追加するという試験でした。今回は効きを判定するために使用した組織やホルモン治療開始前、手術時の組織を用い、ホルモン治療による反応で変化する可能性のある分子群を測定し、それらの分子群がどのように変化しているのか、また治療効果や予後を予測することが可能かを研究します。

対象はこの臨床研究の付随研究に同意いただいた患者さんです。研究は京都大学研究科乳腺外科と英国オックスフォード大学腫瘍学の共同研究として行われ、臨床試験の際に採取された組織があなた個人のものと特定できないようにしたうえで送付され、蛋白発現などの解析を京都大学およびオックスフォード大学において行なわれます。(研究期間：2028 年 3 月 31 日まで、オックスフォード大学の研究責任者: Adrian Harris) 術前治療による組織学的変化と臨床的な治療効果判定を元に解析をさせていただきます。

また、この研究は、当院の倫理審査委員会で倫理性・科学性が審査され、研究機関の長により承認されています。お名前、住所、電話番号、カルテ番号などの個人情報が特定できないように仮名化した情報を研究に使用しますのでプライバシーは厳重に守られます。

ご不明な点がありましたら、またより詳しくお聞きになりたい方は、担当医までお問い合わせください。本研究は過去の組織や情報について検討することからあなたが不利益を被ることはありません。なお、研究のための情報の利用を望まれない方は、あなたのデータを使用することは一切ありませんので、担当医に本研究へは不参加であるとの意思表示をなさってください。

(研究責任者)

国立病院機構大阪医療センター 乳腺外科 八十島宏行

TEL：06-6942-1331、FAX：06-6946-3608

メール： yasojima.hiroyuki.wt@mail.hosp.go.jp

(研究代表者)

京都大学医学部附属病院乳腺外科学講座

リアルワールドデータ研究開発講座 特定助教 川口展子

【ご相談・お問い合わせ】

京都大学医学部附属病院乳腺外科学講座

〒606－8507 京都市左京区聖護院川原町54

電話:075－751－3660、FAX:075-751-3616

リアルワールドデータ研究開発講座 特定助教 川口展子

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話 075- 751-4748

E-mail： ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2026年8月1日 v1.3